

平成 15 年度 第 1 回常任委員会 議事録（案）

日時：平成 15 年 5 月 13 日（火）14:00～17:15

場所：土木学会会議室 2F 講堂

出席者：丸山委員長、石橋（代理：栗原）、上田、魚本、梅原、大津、岡沢、金津、河野、小島、坂井、堺、佐藤（勉）、佐藤（良）、島、鈴木、角、十河（代理：入矢）、竹田（代理：坂田）、武若、辻、堤、手塚、富田、二羽、福手、松岡、宮川、睦好、山本、六郷、渡辺の各委員、前川幹事長、宇治、中村、三島、横田の各幹事

配布資料：

- 1-0 平成 15 年度 第 1 回常任委員会 議事次第
- 1-1 平成 15 年度コンクリート委員会名簿
- 1-2 平成 14 年度 第 6 回常任委員会 議事録（案）
- 1-3 平成 15 年度コンクリート常任委員会日程（案）
- 1-4-1 アルカリ骨材反応対策（略称：ASR）小委員会 委員構成（案）
- 1-4-2 アルカリ骨材反応対策小委員会（ASR 小委員会）設立趣旨および活動概要
- 1-4-3 アルカリ骨材反応対策小委員会（ASR 小委員会） 第 1 回議事録（案）
- 1-5 示方書連絡調整小委員会委員構成（案）
- 1-6 規準関連小委員会委員構成（案）
- 1-7-1 コンクリート教育研究委員会委員構成
- 1-7-2 電力施設解体コンクリート利用検討小委員会委員構成
- 1-7-3 超高強度繊維補強コンクリート研究小委員会委員構成
- 1-7-4 吹付けコンクリート研究小委員会委員構成
- 1-7-5 コンクリート構造物のヘルスマonitoring研究小委員会（328 委員会）名簿
- 1-8-1 浸せきによるコンクリート中の塩化物イオンの見掛けの拡散係数試験方法（案）  
（JSCE-G572-2003）
- 1-8-2 実構造物におけるコンクリート中の全塩化物イオン分布の測定方法（案）  
（JSCE-G573-2003）
- 1-8-3 電気泳動によるコンクリート中の塩化物イオンの実行拡散係数試験方法（案）  
（JSCE-G571-2003）
- 1-8-4 塩化物イオン拡散係数試験方法検討部会作成原案への意見に対する回答
- 1-9 コンクリート構造物補修用断面修復材の試験方法（案）（JSCE-K561-2003）
- 1-10-1 調査研究委員会の活動度に応じた予算の適正配分について（案）
- 1-10-2 平成 15 年度調査研究費等予算（案）明細書(1)
- 1-10-3 平成 15 年度調査研究部門「重点研究課題（研究助成金）」交付決定一覧
- 1-11-1 平成 14 年度コンクリート委員会会計状況（3 月 31 日確定）
- 1-11-2 平成 15 年度コンクリート委員会一般会計暫定予算案（7 月まで）および特別会計予算・支出状況表
- 1-12 3 種委員会「豊かな沿岸を造る生態系コンクリート研究調査小委員会」の設立申請書
- 1-13 研究討論会のテーマ・主旨と情報提供者について
- 1-14 微量成分溶出に関する調査研究小委員会脱稿にあたってのライブラリーの最終修正箇所

- 1-15-1 裁判支援方策「土木学会の役割とその対応」
- 1-15-2 最高裁判所からの「調停委員候補者の推薦」依頼について
- 1-15-3 調査研究部門（委員会）分野及び分野別分類（案）
- 1-16 「コンクリートの塩化物イオン拡散係数試験方法の制定と試験方法の規準化の今後の動向」および「コンクリートからの微量成分溶出に関する現状と課題」講習会の開催について
- 1-17 「PC 構造物の現状の問題点とその対策」に関するシンポジウム
- 1-18 「コンクリートの化学的侵食・溶脱」に関するシンポジウム

## 議事

### 1．委員長挨拶

丸山委員長から挨拶が行われた。他委員会と協力しながらコンクリート委員会が社会および学会に貢献できるよう活動を進めていきたい旨の抱負が述べられた。

### 2．委員自己紹介

各委員から自己紹介が行われた。

### 3．前回議事録の確認（平成 14 年度第 6 回常任委員会）

資料 1-2 の平成 14 年度第 6 回議事録（案）が承認された。

### 4．審議事項

#### （1）平成 15 年度常任委員会日程（案）

丸山委員長から、資料 1-3 に基づき平成 15 年度の委員会日程（案）が説明され、了承された。

2 回目以降の開催日は、第 2 回：7 月 15 日（火）、第 3 回：9 月 23 日（火）、第 4 回：10 月 9 日（木）、第 5 回：12 月 11 日（木）、第 6 回：3 月 9 日（火）となった。

#### （2）アルカリ骨材反応対策小委員会の設置および委員構成

・丸山委員長から、アルカリ骨材反応による鉄筋破断の問題に関し、社会的重要性を考慮し「アルカリ骨材反応対策小委員会（委員長：宮川豊章）」を発足させたことが説明され、了承された。

・引き続き、宮川標記委員会委員長から、曲げ加工部および圧接部の破断の状況および現在推測されている原因として、ASR による大きな膨張力、曲げ加工部のひずみ時効の影響、圧接不良、水素脆化および応力腐食の影響、などがあげられることが説明された。また、資料 1-4-1～1-4-3 に基づき委員構成（案）の提案および以下の委員会活動の概要が報告され了承された。活動期間は 2 年間とし、当面は実態・メカニズム、評価、補修・補強の 3 つの WG で検討を行い、9 月には学会としての中間報告をまとめる予定である。また 1 年後には WG の再編成もあり得るが、2005 年の維持管理編の改訂に反映できるよう検討を進める。

・中間報告については学会のホームページとともに学会誌にも掲載することとした。

・吉田賞委員会から、各年度 100 万円の補助を受けたことが丸山委員長から報告された。

#### （3）舗装委員会設置（常置）に伴うコンクリート標準示方書舗装編の今後の基本方針

丸山委員長から、2002 年に舗装委員会が設置されたことに伴い、舗装委員会から舗装標準示方書の中でコンクリート標準示方書舗装編に基づくコンクリート舗装を扱いたいとの打診があったことが説

明された。コンクリート標準示方書の設計思想や最新のコンクリート技術が正確に反映されるような方針で進めてもらうことを前提に、舗装委員会でコンクリート舗装に関する示方書の作成を了承した。また、意見として出された、示方書の内容に対する責任の所在、アスファルトとコンクリートの両者を扱う示方書としての枠組みの考え方、コンクリート標準示方書「施工編」との整合性、コンクリート委員会との協力関係の必要性、状況によっては再度コンクリート委員会での作成もあり得る、などについても、丸山委員長から連絡することとした。

#### (4) 示方書連絡調整小委員会（仮称）の新設および委員構成

丸山委員長から、45歳ぐらいまでの委員を中心とし、10年後の示方書に関する活動を見据えた委員会設置の提案が行われ、委員会の新設と委員長（二羽委員）、幹事長（佐藤（勉）委員）の案が了承された。

活動期間は2年間とし、具体的な活動は委員会で自由に議論して進めてもらうこととした。また二羽標記委員会委員長から、資料1-5の委員構成案に対する意見も踏まえて、次回委員会に委員案を提出することが説明された。

#### (5) 規準関連小委員会委員構成

梅原標記委員会委員長から、資料1-6に基づき、標記委員会の継続の提案および継続した場合の委員構成案が説明され、了承された。

#### (6) 委員会委員構成および交替

・丸山委員長から、コンクリート教育研究小委員会（資料1-7-1）、電力解体コンクリート利用検討小委員会（資料1-7-2）、超高強度繊維補強コンクリート研究小委員会（資料1-7-3）、コンクリート構造物のヘルスマニタリング研究小委員会（資料1-7-5）、表面保護工法研究小委員会の委員交代および追加の提案があり、了承された。

・魚本吹付けコンクリート研究小委員会委員長から、資料1-7-4に基づき、標記委員会委員の交代および追加の提案があり了承された。なお、委員構成には分科会に所属する委託者委員は記載されていないことが説明され、分科会所属の委員も記載することとした。

#### (7) コンクリートライブラリー編集委員会委員長交代

前川幹事長から、標記委員会委員長交代の提案があり、現標記委員会委員である原田哲夫氏が委員長となることが承認された。また、委員として宇治幹事の追加が了承された。

#### (8) 鋼コンクリート合成構造連合小委員会の連絡幹事

丸山委員長から、標記委員会の連絡幹事を佐藤（勉）委員にお願いすることの提案があり、了承された。

#### (9) コンクリートの塩化物イオン拡散係数試験方法（案）

・武若委員から、資料1-8-1～1-8-4に基づき意見照会に基づき修正した試験方法案が説明された。主な変更点として、前回議事録にあるEPMAを用いた塩化物イオンの分布を測定する試験方法は今回見送ったこと、試験方法が異なる見掛けの拡散係数の違いは記号を変えて表記することとしたことが説明された。また、各拡散係数の換算については解説書を作成し記述する予定であることが説明され

た。なお、解説などは HP にのせるとともに委員会報告として論文集にも掲載することとした。

- ・資料 1-8-1 の参考表および参考図は「参考」をとることとした。また参考表-1 は浸せき期間を判断するために水セメント比ごとに目安として示しているとの説明がなされた。

- ・意見がある場合は、5月20日までに、武若委員に送付することとした。

#### (10) コンクリート構造物補修用断面修復材の試験方法(案)

宮川委員から、資料 1-9 に基づき標記試験方法案が説明された。「付着」の言葉の使い方は JIS で再確認し、「製造業者」は適切な言葉に修正することとなった。意見回答書を 5月20日までに、宮川委員に送付することとした。

#### (11) 調査研究委員会の予算配分適正化について

前川幹事長から資料 1-10-1～1-10-3 に基づき、調査研究委員会への予算配分に対する担当理事案が説明された。コンクリート委員会としては、担当理事案に賛成することとした。

#### (12) 平成 14 年度会計報告および平成 15 年度暫定予算(案)

- ・睦好前幹事長から資料 1-11-1 に基づき平成 14 年度の会計報告が行われ、了承された。
- ・前川幹事長から資料 1-11-2 に基づき平成 15 年度の暫定予算案について、年度予算を一般会計とし、年度をまたがる予算を特別会計として区別したこと、昨年度とほぼ同様の予算であること、一部未確定の項目があるので 7 月までの暫定予算とすることなどが説明され、了承された。
- ・予算書の委員会名および委員名に一部誤りおよび変更があるので修正することとした。

#### (13) 3 種委員会の新設

濱田氏から、豊かな沿岸を造る生態系コンクリート研究小委員会(委員長:佐伯昇)の趣旨説明があり、新設が承認され、直ちに公募の手続きに入ることが確認された。

#### (14) その他

### 5. 報告事項

#### (1) 耐震連絡準備会設置について

丸山委員長から、地震工学委員会からの依頼に基づき意見交換を行う耐震連絡準備会を設置する方向で検討中であり、地震工学委員会と打ち合わせ後具体的な事項について説明することが報告された。

#### (2) コンクリート教育研究小委員会報告

福手標記委員会委員長から全国大会研究討論会の主旨と情報提供者が報告された。情報提供者が土木学会員でない場合は、コンクリート委員会から旅費を出すことが確認された。

#### (3) 出版委員会関連報告

宇治幹事から、示方書のコンスタントな販売への協力依頼と、示方書売り上げの利益が研究活動へ有効利用されるよう出版委員会で検討していることの報告がなされた。

#### (4) 「コンクリートからの微量成分溶出に関する現状と課題」最終原稿修正箇所報告

坂井標記委員会委員長から、資料 1-14 に基づき、最終修正箇所の報告が行われ、確認された。

(5) エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針

武若委員から、現在、意見回答書に基づき標記指針の修正中であり、6月上旬に修正した案を郵送して更に意見を求め、次回委員会で最終確認をしてもらう予定で作業中であることが報告された。

(6) 鑑定人及び調停委員の候補者推薦の制度について

前川幹事長から、資料 1-15-1～1-15-3 に基づき最高裁判所からの鑑定人推薦依頼に関する説明がなされた。至急の場合には、幹事団を窓口として対応することが提案され、了承された。

(7) 「コンクリートの塩化物イオン拡散係数試験方法の制定と試験方法の規準化の今後の動向」および

「コンクリートからの微量成分溶出に関する現状と課題」講習会

梅原委員から、資料 1-16 に基づき標記講習会(9月9日(火))の案内がなされた。

(8) コンクリート委員会ホームページの更新

中村幹事から、ホームページへの意見と各小委員会の英文名を至急連絡することの依頼がなされた。

(9) 構造工学委員会荷重部会参加委員について

丸山委員長から、荷重に関する指針作成の連合委員会設置に関する協力依頼が構造工学委員会からあり、コンクリート委員会としては協力すること、および具体的な進展があり次第報告するとの説明がなされた。

(10) その他

・睦好委員から、資料 1-17 に基づき「PC 構造物の現状の問題点とその対策」に関するシンポジウム(6月12日(木))の案内がなされた。

・坂井委員から、資料 1-18 に基づき「コンクリートの化学的浸食・溶脱」に関するシンポジウム(6月20日(金))の案内がなされた。

6. その他

(1) 渡辺委員から、土木製図基準の鉄筋加工図の最終案は、ISO と整合するかたちで外寸法とすることになったことの報告が行われた。また、最終案は5月16日から学会ホームページに掲載されるので、意見を出して欲しいとの依頼がなされた。

(2) 丸山委員長から、学会ホームページ(<http://jsce.jp/>)にアルカリ骨材反応に関する問題の意見交換の場が作られたことが報告された。

(3) 丸山委員長から、3種委員会主催のシンポジウム等の開会挨拶は辞退したいとの申し出がなされ、了承された。

(4) 現在、コンクリート委員会 HP からリンクが張られている ASR 小委員会の HP について、事務局長から土木学会 HP へもリンクを張ることが要請され、了承された。

以上